東工取　20周年記念式典

世界2位の商品先物取引所に 激動と発展、そして国際化

東京工業品取引所は11月1日、東京・丸の内の東京會舘で、設立20周年記念式典と祝賀パーティーを開催した。昭和59年（1984年）に、「東京繊維商品取引所」「東京ゴム取引所」「東京金取引所」の3取引所統合で生まれ、激動と発展の20年を経て、「成人式」を迎えた。式典、パーティーには合わせて関係者約600名が出席、力強く前途を祝った。

記念式典冒頭の式辞で、東工取の南學政明理事長は、商品先物業界の歴史に大きな足跡を残した20年であった――と概要次の通り振り返った。

上場商品、大きく変化

平成11、12年に相次いで毛糸、綿糸の上場を廃止した一方で、平成11年から15年にかけてガソリン、灯油、原油等が上場され、石油製品・原油は今や出来高の5割を占め、貴金属とともに大市場に成長しています。

利便性については、平成3年、当時としては一大変革だった「ザラバ方式によるシステム売買」を開始し、今日の発展の基盤になりました。昨年には世界最高水準の新システムを導入しました。

信頼性は、昨年6月の国内商品取引所初のインハウス型クリアリングハウス設置によって著しく向上しました。

国際化については、2年前から海外取引所との提携を進め、今では米国のNYMEX、英国のIPE等、7つの海外取引所とMOU（覚書）を締結しています。

お陰をもちまして、弊所の市場規模は、年を追うごとに拡大し、2003年の出来高は約8、700万枚、取引金額は170兆円と、商品先物取引の分野ではNYMEXに次ぐ世界第2位の取引所に成長いたしました。

式辞を述べる南學理事長

これからの20年間、取引所も業界も大きな変貌を遂げるでしょうが、経済的・社会的ニーズに応えるべく、一層の発展に努めていきます。

さらなる市場整備を

来賓祝辞では、中川昭一経済産業大臣の祝辞を保坂三蔵副大臣が代読し、東工取の成長の足取りをたどるとともに、商品取引所法改正を機に、重要な産業基盤として、さらなる発展を期待すると述べた。

続いて、商品取引員の代表として当協会の二家勝明会長が東工取のマーク（記章）の由来にからめて、業績と期待を次のように語った。

初代理事長の渡辺佳英氏が発案されたマークは、繊維、ゴム、金の取引所が一体となって発展していくことを意味していますが、もうひとつは真ん中の線が数字の1を表しており、また、3つのI（Industry,Integration, International）を示してもいます。

このマークが表現する通り、商品先物制度の調査、研究に多角的に取り組まれ、上場商品のスクラップ・アンド・ビルドの推進、クリアリング機能を備えた清算制度への移行、当業者の利用に配慮した新取引の導入、市場構造研究所設立など市場制度改革・整備に取り組まれ、世界にはばたくための基盤づくりを進めてこられました。さらに社会の公器として世界に冠たる取引所に発展されることを願っています。

大臣表彰3氏

これまでの東工取発展に特に貢献があった人に対しての表彰式では、下山彌壽男、多々良實夫、清水清の3氏に経済産業大臣表彰状が、間渕直三氏に同省商務流通審議官表彰状が授与された。

また、理事長表彰状贈呈は、特別表彰の吉井溥、二家勝明、川路耕一の3氏と河村幹夫、貝元健次、高井裕之、加藤雅一、鈴木敏夫の5氏。

表彰を受けた方々

元気よく盛り上がる

記念式典に続く祝賀パーティーは、勢いのある取引所らしく、委託手数料完全自由化、改正商取法施行など厳しい環境を踏まえつつも明日に向かっての元気のいい話で盛り上がった。

記念パーティー鏡開き

商品先物取引業界の平成17年賀詞交歓会日程

団体・取引所	月　日	時　間	場　所
在京5団体	1／4（火）	10：30	東京會舘
関西商取・大阪商取	1／5（水）	17：30	リーガロイヤルホテル
福岡商品取引所	1／7（金）	17：30	ホテルニューオータニ博多
横浜商品取引所	1／19（水）	18：00	ヨコハマ・グランド・インターコンチネンタルホテル
中部商品取引所	1／25（火）	18：00	名古屋マリオット アソシアホテル

清算機関に1億円出資

先物協会　議決・発言権を確保

先物協会は11月2日の総務委員会を経て11月10日の理事会で、改正商取法の施行に伴って設立される全国7商品取引所合同の商品取引清算機関に1億円出資することを決めた。2005年3月の臨時総会で正式決定する。

（社）全国商品取引所連合会は当初、株式会社として設立する商品取引清算機関（共同清算センター）の資本金は取引所出資に限る考えだった。しかし、商品先物取引制度の改善・整備に向けた建議要望のための議決権、発言権を確保しておきたいという当協会側の強い意向が受け入れられた。

当協会は運営準備金4億5、000万円から1億円を出資する。清算機関は05年1月に取引所出資（5億円）で設立され、その後、増資して当協会分を加える。

また、清算機関の役員に商品取引員代表3名が就任する予定。

当協会相談役を併任

多々良、下山両理事

先物協会は11月10日の理事会で、多々良義成理事（当協会前会長）、下山彌壽男理事（同前副会長）の相談役併任を決めた。商品先物取引に関する制度改正、税制改正の要望など、先物協会の対外的交渉面での強力な支援を要請することとしている。

サンワード貿易健闘

社会人野球日本選手権

大阪ドームで開催された第31回社会人野球日本選手権で、北海道代表のサンワード貿易が大健闘した。

11月25日の2回戦では、神田幸輝投手の好投で優勝候補の日本生命（近畿・大阪代表）を5対1で破り、ベスト8に進出した。北海道勢としては10年ぶりの8強入りだった。

翌26日の準々決勝では、JFE西日本（中国・広島代表）と対戦、8回には1点勝ち越したが、9回表2死から追いつかれた。延長11回、右前決勝打を打たれて2対1で負けたが、熱戦に観客席は盛り上がった。

なお、JFE西日本は28日の決勝戦で大阪ガス（大阪代表）を15回延長の末、1対0で破り、優勝した。